



オスプレイの配備
普天間基地の県内移設

断念を!

沖縄41市町村が首相に直訴



**安倍さん、この声に
どう答えるのですか!?**

まさに「沖縄一揆」に

1月27日、沖縄の全県議と41全市町村の首長、議長ら144人が勢ぞろいし、安倍首相と政府に対し、「オスプレイの配備をただちに撤回すること」「米軍普天間基地を閉鎖・撤去し、県内移設を断念すること」を求める「建白書」を提出しました。まさに「沖縄一揆」の様相です。

県民の怒りが爆発

日米政府は10月、沖縄の県民ぐるみの反対の声を無視し、市街地の真ん中にある米軍普天間基地に、墜落をくりかえす新型輸送機オスプレイを配備しました。そして「やらない」と約束したはずの市街地上空での飛行を連日行い、県民は恐怖と怒りの声をあげています（自治体が調査した結果、6割が合意違反飛行）。

しかも日米政府は、7月に12機を追加配備し、さらに来年、空軍嘉手納基地にも配備しようとしています。加えて安倍首相は、普天間基地の「県内移設」＝名護市辺野古への新基地建設を進めると明言。県民はこぞって反対しています。

全国でも声を! ～低空飛行訓練もNO～

日本政府は、沖縄県民の人権や意思をどう思っているのでしょうか。安倍首相、日本政府は、この叫びに答えるべきです。

いま私たち一人一人が、沖縄の人々とともに、「こんなアメリカいいなりの政治はダメだ」と声をあげることが大切です。オスプレイは今後、日本全国に飛来し、爆音と墜落の危険をもたらす低空飛行訓練をくりひろげようとしているのですから!



日本平和委員会

2013年2月発行

一人ひとりの平和の願いをもとに行動する平和NGOです

<http://j-peace.org/>

東京都港区芝1-4-9平和会館4階

TEL03-3451-6377 FAX03-3451-6277